

国境のまち 建部町

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区建部町建部上510-1	
		

国境のまち 建部町

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区建部町福渡991-1	
		

陣屋町 金川

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川690-1	
		

金川知行所跡

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川962-1	

高瀬舟

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川529	
		

津山往来

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川529	
 <p>× : 設置位置</p>		

祖師堂と題目石

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区大安寺西町7-20付近	 <p>岡山歴史散歩 → 主人の歴史を知らず</p> <h2>祖師堂と題目石</h2> <p>入野地区には、他の地域より仏教堂が多くあるのが目立ちます。</p> <p>室町時代、日蓮上人の孫弟子・大親大徳正は、備前城主・松田氏の庇護の下、この地に「南無妙法蓮華経」と題する堂を建て、その功徳によって信仰する人の数を広げていきました。</p> <p>大徳正は、信仰の拠点として『南無妙法蓮華経』と題された題目石が祀られた祖師堂と並び、自ら書院を境内に建てたことを記録しました。祖師堂の名前の由来は、日蓮上人のことを祖師と呼ぶことから付けられました。また、おそら様（お祖師様）とも呼びます。</p> <p>祖師堂では祭事・葬儀が行われ、社の人々の信仰と結び合いの場となりました。如今では、お堂が崩れかかっているため、題目石のみになっている場所もあります。</p> <p>将来、今日まで、各々の宗派では使われてきた祖師堂の遺構と尊厳が取り戻されています。</p> <p><small>(情報提供：大徳正の歴史を語り継ぐ会 岡山)</small></p>
 <p>凡例 ✕ : 設置位置</p> <p>太然寺</p> <p>PASCO Increment P</p> <p>30m</p>		

清水宗治公自刃の地

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区高松689付近	
		<p>岡山歴史散歩 ー35の歴史を知らー</p> <p>清水宗治公自刃の地</p> <p>慶長5年(1600)、高松知行所領主花房謙之により花房家の菩提寺として建立された妙見寺は、藩主高松藩が攻めの名残を残す寺院です。</p> <p>天正10年(1582)、備中真備城の戦いで水攻めにあつた高松城主清水宗治公は、主君・毛利氏への忠義と城下の兵と家族五千の救命の為に深く切腹し、船中羽衣(普賢)菩薩が「宗治は武士の墓である」と絶賛したといわれています。</p> <p>妙見寺は宗治公が自刃した場所と伝わり、歴代住職により供養がなされ、昭和36年(1963)には境内に供養塔が建立されました。</p> <p>(資料提供：妙見寺) 岡山県</p>

板倉本陣跡

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区吉備津288鯉山コミュニティハウス	
<p>凡例 ✕ : 設置位置</p>		<p>岡山歴史散歩 - まわりの歴史を知る -</p> <p>VECTRA LAB E</p> <h2>板倉本陣跡</h2> <p>ここが宿務町牧倉の本陣でした。本陣とは宿務町の惣治施設の中で最も権威があり、大名などの身分の高い人だけが泊まることができた施設です。</p> <p>寛文・宝暦(1661~81)、それまで別内村の中田家にあった本陣が当地にあった津屋(後の東方家)に移されました。これを機に、板倉・区内・頭部の3村で宿務の仕事を分担することになりました。</p> <p><small>(情報提供) 鯉山コミュニティハウス 岡山市</small></p>

榊原職直の津寺知行所跡

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区津寺422付近	
<p>凡例 ✕ : 設置位置</p> <p>津寺知行所跡</p>		<p>神原職直の津寺知行所跡</p> <p>前方の小高い場所は、榊原職直が構えた陣屋跡です。</p> <p>天正14年(1586)、職直は荒原職三の次男として生まれました。慶長4年(1599)、13歳の時に津原道直の取り次ぎで家康の参軍となり、この地に集まるため陣屋と称し、陣取の要所となりました。</p> <p>元和3年(1617)の父・職三の死後、当地地区内に1,000石を分けてもらい、✕家康に陣屋を構えたことがこの陣屋跡の由来です。</p> <p>寛永13年(1634)、職直は長崎参府に就任し、正徳の騒動やキリシタン弾圧に努めました。寛永15年(1638)の騒動の故にて参勤交代を断じ、同年6月29日に参勤・参府の処分を受けました。</p> <p>その後は跡取り、享和19年(1642)には命元新田藩、享和3年(1645)には近江国米田藩の城番を務めました。</p> <p><small>(情報提供：三本木町内会 岡山市)</small></p>

誠意館

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区庭瀬605付近	<div data-bbox="1518 347 1854 1337">  <p>岡山歴史散歩 - 岡山の歴史をたづねる -</p> <p>セイレイカン 誠意館</p> <p>元禄12年(1699)、近海藩初代藩主松平直重が「午館」と呼ばれる藩校を城内に開設したのが始まりです。これが文政6年(1823)、第7代藩主松平の時に改築され「誠意館」となり、手狭となったので天保12年(1841)、第8代藩主の時に武芸場と文芸場が分けられ、文芸場をこの本町北側に移しました。</p> <p>敷地面積は750坪(約2,500㎡)であり、校舎の建坪は130坪(約30㎡)と、藩校にふさわしい立派な建物でした。</p> <p>ここでは、藩士の子弟に対して「孝経」「尚書」「五経」を教材とする儒学その他、和漢歴史、詩文、筆習など多岐に渡る教育が明治維新後まで行われていました。</p> <p>第29代内閣総理大臣として国政に尽力した大隈 義経(号 朱堂)もここで学びました。</p> <p>岡山市</p> </div>
 <p>×:設置位置</p>		

不変院 戸川家墓所

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区庭瀬701付近	
		<p>不変院 戸川家墓所</p> <p>戸川家墓所 本堂境内には、応永藩戸川氏第1代～第3代の墓が建てられていましたが、延宝7年(1679)に第4代安規が死去したことにより延福寺が改号となった後、城下地区の延福寺に移され現在に至っています。</p> <p>当地の墓所で特に目立つべきは、「戸川家家長之墓」と書かれた中央の墓石とその背後左右にある2基の五脚碑です。右の碑にはその名の通り5つの石が積み重ねられまわっていますが、左の石碑は現在4つの石しか残っていません。これらは諸説ありですが、享和4年(1797)の当地地震の際に、左の塔に積まれていた上から2番目の半月形の石が失われたのではないかとも言われています。</p> <p>左は戸川安久、右はその息子の川川龍名の親子墓ではないかと推測されています。親子とも藩士戸川家の血縁で、延福寺城下地区の干拓を行ったと言われています。</p> <p>前庭塔婆 五脚碑の背後にある石造りの御霊塔塔婆は、「岡市の〇〇墓」という刻文が残っていることから、戸川安久の父・陣行と通称の四石と考えられます。なお、安久は岡野から戸川姓に改名したと伝えられています。</p>